

キンキサインが飲料寄付 フードバンクはりに自社の480本



フードバンクはりまの辻本美波理事長(左)にペットボトル飲料を寄贈するキンキサインの山口義弘会長。神戸町福本、キンキサイン本社第2工場

高まった。4月以降は姫路市や福崎町とも協力し、支援物資の確保を急いでいる。

姫路市を通じてこうした活動を知ったキンキサインが寄贈を申し出た。寄贈品の内訳は、緑茶240本とスポーツドリンク240本。同社の山口義弘会長は「自分たちの事業で地元の役に立てるならしっかりと協力させてもらいたい」と話した。(井上太郎)

清涼飲料メーカーのキンキサイン(姫路市豊沢町)は、同市を拠点に活動するNPO法人「フードバンクはりま」に、自社製品のペットボトル飲料(500ミリ)480本を寄贈した。

同法人によると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い食糧支援のニーズが

同法人が、食糧支援を必要とする播磨地域のひとり親家庭や子ども食堂などに配る。

同法人によると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い食糧支援のニーズが

献血

23日 姫路みゆき
(10~12時 13~17時)